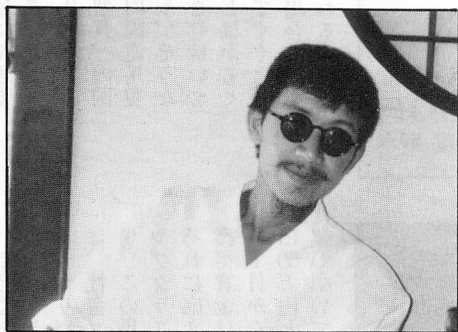


広告業界版イミダス、その2

■好田明子の広告批評その6■

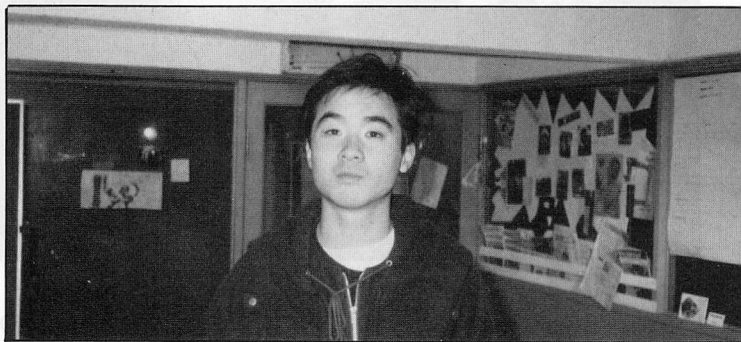
1. クリエーター・ヒゲ現象

制作の仕事に携わっている人間が主に口もとにヒゲをたくわえること。だいたい口ケなどで世俗と離れて仕事をしている時がきっかけとなる。あまり意味もなく先輩にならって伸ばしている人が多い。ただクライアントに会う時など多少威圧感が出るというメリットがある。特長として、若い女の子の目を意識している、何故かスポルディングの靴の愛用者が多い、服装がムサイ、長髪が多い、など。鼻の下のまん中の部分にヒゲのはえない人は、唯の中国人になる恐れがある。



2. 映像関係のアシスタント

CMにしる、番組にしる、映像プロダクションのアシスタントは不可解である。まず髪型、前髪は結構長くて前にたらし、トップは短い。そしてサイドもざん切りだがうしろのえりがとても長い。ちょっとだけツッパって、服装が安っぽい高校生に多い髪型だ。そして服がきたない。私は清潔なGパンはいたアシスタントを見たことがない。ただし専門用語はメチャクチャ詳しい。当たり前だが…。詳しくすぎるから腹が立つ。私が知らないだけだが…。多分、家ではロックを聴いていそうで、連れて歩いてる女もほぼ想像できる。スタジオの陰でアシスタント同志がコツコツ冗談を言っている。暗い。給料安いし。こき使われるのはわかるけど、もう少し身のまわりに、気を使えばいいと思う。ディレクターの服装が思いっきりダセーから、職場の雰囲気に慣れてしまうのかもしれないが…。



3. 業界用語を日常会話に応用しよう。日々の会話の中で業界を感じさせて、友達に差をつけよう。

- ①たとえば「レーティング」。これはテレビの視聴率（ラジオなら聴取率）のことだが、数字が0に近い時は、*印で発表される。つまり数字にならねえってことで、要するに誰も見てないに等しいのだ。合コンなんかで、ギャグやっても、他のみんながギャルと勝手に盛り上がりて誰も見てくれなかったら、「イヤー*印、*印、(コメジルシ)」と、頭を2~3回パンパンとたたきながら、言ってみよう。起死回生の一発逆転まちがいなしだ。
- ②「ソフトフォーカス」。これは、カメラのレンズにフィルターをかけて、ナマの絵を軟らかくしたり、ぼかしたりしてソフトタッチな情感を出す時に使われるテクだ。これはギャルにおすすめしたい。疲れている時に彼がSEXさせーと言ってきたら、「ソフトフォーカスでしてネ」とカワイク言ってみよう。

その日の彼は、デビット・ハミルトンの写真みたいに、優しく前戯してくれ、クリトリス中心のSEXをしてくれるはずだ。

さあ、使用のタイミングをつかんだら君も今日から業界人だ。

